

授業科目	*臨床栄養管理学 (B クラス)				単位	2		
履 修	必修	関連資格	栄養士 管理栄養士 栄養教一種免		ナンバリング	NT21801J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-2			
担当教員	西村 貴子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>臨床栄養とは、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理を行うことである。そのために、具体的な栄養状態の評価・判定(栄養アセスメント)、栄養補給、栄養教育、モニタリング項目、食品と医薬品の相互作用等について、理解を深め、総合的な栄養ケアマネジメントの考え方を修得する。また、医療現場では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等が様々な視点から、患者の治療を進める「チーム医療」が行われており、管理栄養士は栄養の専門家として、適切な栄養評価や栄養管理ができなければならない。</p> <p>本科目では、医療・福祉関係に従事する管理栄養士が医療を提供するチームの一員として栄養管理を担っていることを十分に理解し、適切な栄養管理を行うための知識と技術を修得することを目標とする。実務家教員として、病院勤務経験を有し、栄養部門の長として、院内の栄養関連の総合マネジメント、褥瘡対策チームへの参画および栄養サポートチーム体制の立ち上げ・運営に従事した管理栄養士が授業を展開する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>傷病者の QOL の向上を目的とした医療チームの一員として管理栄養士が備えておくべき栄養管理の専門知識や技術の基本を学ぶ。さらに、保健、医療、福祉との連携の中でも、ケア・マネジメントに参画できる能力を養うことを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床栄養学の意義と目的、チーム医療における管理栄養士の役割を理解し、説明できる。</li> <li>2. 栄養スクリーニング・栄養アセスメントの意義および方法を理解し、説明できる。</li> <li>3. 栄養管理のためのスクリーニング、アセスメント、ケア計画、モニタリング、再評価の方法について説明できる。</li> <li>4. 栄養補給法および薬と栄養の相互作用について説明することができる。</li> <li>5. 栄養ケアの記録を作成することができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20	5					25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20	5					25	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	35	5					40	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)	5	5					10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1~5 の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。さらに、福祉・医療従事者との連携・協働する方法を説明できる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床栄養学の意義と目的、チーム医療における管理栄養士の役割を理解し、説明できる。</li> <li>2. 栄養スクリーニング・栄養アセスメントの意義および方法を理解し、説明できる。</li> </ol>				

			3. 栄養管理のためのスクリーニング、アセスメント、ケア計画、モニタリング、再評価の方法について説明できる。 4. 栄養補給法および薬と栄養の相互作用について説明することができる。 5. 栄養ケアの記録を作成することができる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: 臨床栄養学の概念 臨床栄養学の意義と目的について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 臨床栄養の意義・目的と管理栄養士の役割について整理し、理解する。	30 30
2	テーマ: 医療、福祉・介護と臨床栄養 チーム医療における管理栄養士の役割、医の倫理やチーム医療を行う意義について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 医療の倫理およびチーム医療について整理し、理解する。	30 30
3	テーマ: 医療制度・介護制度の基本 1 医療保険制度について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 医療保険制度について整理し、理解する。	30 30
4	テーマ: 医療制度・介護制度の基本 2 介護保険制度について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 介護保険制度について整理し、理解する。	30 30
5	テーマ: 傷病者・要介護者への栄養アセスメント 1 栄養スクリーニングの具体的手法、栄養アセスメントの概要について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 栄養スクリーニング、栄養アセスメントについて整理し、理解する。	30 30
6	テーマ: 傷病者・要介護者への栄養アセスメント 2 臨床診査からみる栄養状態の評価・判定について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 臨床診査について整理し、理解する。	30 30
7	テーマ: 傷病者・要介護者への栄養アセスメント 3 身体計測からみる栄養状態の評価・判定について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 身体計測について整理し、理解する。	30 30
8	テーマ: 傷病者・要介護者への栄養アセスメント 4 臨床検査からみる栄養状態の評価・判定について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 臨床検査について整理し、理解する。	30 30
9	テーマ: 傷病者・要介護者への栄養アセスメント 5 食事調査からみる栄養状態の評価・判定について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 食事調査について整理し、理解する。	30 30
10	テーマ: 傷病者・要介護者への栄養アセスメント 6 栄養素等必要量の算定、評価・判定について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 栄養素等必要量の算定について整理し、理解する。	30 30
11	テーマ: 栄養・食事療法と栄養補給法 1	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。	30 30

	経口栄養補給法・経腸栄養補給法・静脈経腸栄養補給法、それぞれの目的や適応疾患について解説する。		復習: 栄養ケアの標準的な実践方法について整理し、理解する。	
12	テーマ: 栄養・食事療法と栄養補給法 2 経口栄養補給法・経腸栄養補給法・静脈経腸栄養補給法、それぞれの投与方法、合併症の有無について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 栄養ケアの標準的な実践方法について整理し、理解する。	30 30
13	テーマ: 薬と栄養・食事の相互作用 栄養・食品が医薬品に及ぼす影響と医薬品が栄養・食事に及ぼす栄養について解説する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 薬と栄養・食物の相互作用について整理し、理解する。	30 30
14	テーマ: 栄養ケアの記録 栄養ケア記録の意義、問題志向型システムの考え方について解説し、作成する。	講義	予習: テーマの予習をし、まとめる。 復習: 臨床における栄養ケアの記録方法について整理し、理解する。	30 30
15	テーマ: 臨床における栄養管理のまとめ 臨床における管理栄養士の立ち位置について解説し、栄養ケア・マネジメントの流れについてまとめる。	講義・演習	予習: いままでの講義内容について、整理する。 復習: 臨床栄養における栄養管理業務を整理する。	30 30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	疾患の成因・病態および治療法に関する「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」といった科目に加え、社会保障制度に関する「公衆衛生学」の科目知識がベースとして必要である。			
テキスト	講義に使用する説明資料は、配付する。			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	佐藤和人・本間健・小松龍史編著:「エッセンシャル臨床栄養学」(医歯薬出版) 奈良信雄著:「看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック」(医歯薬出版)
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	臨床栄養管理学はこれまで学んできた「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」といった人体の構造と機能及び疾病の成り立ちに関する基礎知識に加え、「公衆衛生学」といった社会保障制度の知識を基に、管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識を学ぶものです。これらの科目を復習するとともに、シラバスを参照し、次回の講義内容について、予習して授業に臨んでください。
達成度評価に関するコメント	試験の内容については、授業の中で指示する。